

家族の集合場所・緊急時連絡先

●家族の集合場所

町内指定退避場所 (各自主防災会で決められています)	
指定避難場所	
家族の集合場所 (家族が離れ離れになった ときの待ち合わせ場所)	

●緊急時連絡先

連絡先	電話番号

災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルは災害発生時のみ利用可能になる「声の伝言板」です。音声ガイダンスに従って伝言の録音、再生を行います。

●伝言の録音・再生方法

- ①「171」をダイヤル
- ②録音したいとき…「1」
再生したいとき…「2」をダイヤル
- ③ご自宅の電話番号、または連絡
をとりたい方の電話番号をダイヤル
(XXX)XXX-XXXX

避難行動要支援者への支援

避難行動要支援者とは、災害時に自分の生命・安全を守ることが難しく、何らかの支援を必要としている人たちを指します。
地域で協力しあいながら支援しましょう。

☆避難行動要支援者を安全に誘導するポイント☆

高齢者 傷病者	複数人で対応。緊急時にはおぶって避難する
目の 不自由な人	障害物を説明し、腕や肩をかしながら半歩くらい前をゆっくり進む
耳が 不自由な人	口を大きく動かして身振り手振りではっきりと話す

笠松町
防災必携

☆日ごろから携帯しましょう

名前

☆個人の状況に応じて準備するべきものは事前に準備しましょう。
(例) 常備薬、現金、保険証の写し、筆記用具、ヘルメット、現金、靴…etc.

簡易食器 (割り箸・紙皿・紙コップなど)	ラップ・アルミホイル	ス洛夫・使い捨てカイロ	簡易トイレ	メガネ・コンタクトレンズ	工具類
-------------------------	------------	-------------	-------	--------------	-----

①〈山折り〉

準備できたラックツツクしように	食品(缶詰・レトルト食品など 3日以上)	水(1日当たり1人3ℓ)	カセットコンロ・燃料	毛布・タオル・寝袋	ウエットティッシュ	携帯電話の充電器	洗面用具(歯ブラシ・石鹸など)	鍋・やかん
-----------------	-------------------------	--------------	------------	-----------	-----------	----------	-----------------	-------

◆非常備蓄品

…復旧するまでの数日間を支えるもの

①〈山折り〉

ポケットティッシュ	タオル	ロープ(5m程度あるとよい)	車手	簡易トイレ(ポータブルタイプ)	ホッスル	レスキューシート(保温シート)	給水バック	使い捨てカイロ	水(500ml 3本程度)	シーキン缶	長期保存用羊かん
-----------	-----	----------------	----	-----------------	------	-----------------	-------	---------	---------------	-------	----------

…災害発生時、最初に持ち出すもの

◆かさまつ防災士会推奨！非常持出袋

非常持出品・備蓄品の準備

準備できたラックツツクしように	リュックサック(名札付き)	LEDライト(手動発電式)	ゴミ袋	レジャーシート	レインコート	歯磨きシートなどの口腔ケア用品	絆創膏、包帯、バンナクリーム	ウエットティッシュ
-----------------	---------------	---------------	-----	---------	--------	-----------------	----------------	-----------

避難情報を入力して早めに行動

災害時の避難情報は、町の「防災行政無線放送」や「あんしんかさまつメール」などを通じて伝えます。安全に避難するうえで役立ててください。

避難準備・高齢者等避難開始情報	避難の準備を始めましょう。
高齢者や障がいのある方、乳幼児などとその支援者は避難を開始しましょう。	

☆3段階の避難情報☆

② 避難勧告	すみやかに避難をはじめてください。
人的被害の発生する可能性が明らかに高まっている状況です。	

③ 避難指示(緊急)	ただちに避難してください。
人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況です。	

避難の方法

避難所への避難が一般的ですが、災害の種類や状況に応じた避難が大切です。必需品を非常用持出袋にまとめて、目につきやすい所定のところに置いておきましょう。

〈水害〉
・外が危険な場合は無理をせず、自宅の最上階や近くの高い建物に避難しましょう。
大切な家財道具はできるだけ高い安全な場所へ移動させましょう。
・川や用水路などには近づかないようにしましょう。
・裸足や長靴は禁物です。運動靴を履き、長い棒を杖代わりにして歩きましょう。

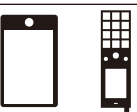
・水深が深い場合は高所で救援を待ちましょう。
・家がゆがんでドアが開かなくなることもあります。ドアを開けて避難口の確保を。
・落下物に注意し、あわてて外に飛び出さないように。
・家族や隣人の安否の確認を。
・高齢者や子どもなどにも声をかけ、みんなで危険な場所を避けて避難しましょう。

緊急地震速報

①緊急地震速報とは？

緊急地震速報は、地震による強い揺れを事前(揺れる前)にお知らせするための情報です。発信されたら、すぐに身を守る行動をとりましょう。

②どこから発信されるの？

テレビ・ラジオ	携帯電話・スマホ	防災行政無線
		

③どういう時に鳴るの？

地震により予測される震度が4弱を超えたときに報知音が鳴ります。

防災行政無線の問い合わせ

アンサーバック機能のお知らせ
⇒放送が聞き取れなかった場合は、下記番号で放送内容が確認できます。
☎388-4930 または ☎388-4931 ※アンサーバックできない放送もあります。

○ 家族分をコピーして1人1枚携帯しましょう。

避難情報を入力して早めに行動

災害時の避難情報は、町の「防災行政無線放送」や「あんしんかさまつメール」などを通じて伝えます。安全に避難するうえで役立ててください。

避難準備・高齢者等避難開始情報	避難の準備を始めましょう。
高齢者や障がいのある方、乳幼児などとその支援者は避難を開始しましょう。	

☆3段階の避難情報☆

② 避難勧告	すみやかに避難をはじめてください。
人的被害の発生する可能性が明らかに高まっている状況です。	

③ 避難指示(緊急)	ただちに避難してください。
人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況です。	

避難の方法

避難所への避難が一般的ですが、災害の種類や状況に応じた避難が大切です。必需品を非常用持出袋にまとめて、目につきやすい所定のところに置いておきましょう。

〈水害〉
・外が危険な場合は無理をせず、自宅の最上階や近くの高い建物に避難しましょう。
大切な家財道具はできるだけ高い安全な場所へ移動させましょう。
・川や用水路などには近づかないようにしましょう。
・裸足や長靴は禁物です。運動靴を履き、長い棒を杖代わりにして歩きましょう。

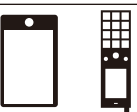
・水深が深い場合は高所で救援を待ちましょう。
・家がゆがんでドアが開かなくなることもあります。ドアを開けて避難口の確保を。
・落下物に注意し、あわてて外に飛び出さないように。
・家族や隣人の安否の確認を。
・高齢者や子どもなどにも声をかけ、みんなで危険な場所を避けて避難しましょう。

緊急地震速報

①緊急地震速報とは？

緊急地震速報は、地震による強い揺れを事前(揺れる前)にお知らせするための情報です。発信されたら、すぐに身を守る行動をとりましょう。

②どこから発信されるの？

テレビ・ラジオ	携帯電話・スマホ	防災行政無線
		

③どういう時に鳴るの？

地震により予測される震度が4弱を超えたときに報知音が鳴ります。

防災行政無線の問い合わせ

アンサーバック機能のお知らせ
⇒放送が聞き取れなかった場合は、下記番号で放送内容が確認できます。
☎388-4930 または ☎388-4931 ※アンサーバックできない放送もあります。

○ 家族分をコピーして1人1枚携帯しましょう。

あんしんかさまつメールに登録を

あんしんかさまつメールに登録すると、次の6つの情報を受け取ることができます。ぜひご活用ください。
①笠松町に発令された気象警報
②笠松町に震度4以上の地震が発生した時の情報
③防災情報
④防犯情報
⑤避難所情報
⑥避難情報

以下のQRコードを読み取りサイトにアクセスし、空メールを送信して登録手続きを行ってください。
QRコードが読み取れない場合は、メールアドレスに空メールを送信してください。



【空メールの送信先】

kasamatsu@sg-m.jp